

キャンパス名	千葉キャンパス				
授業番号	10588003				
授業名	世界動向と国際貢献 C	形態	講義	単位	2
担当教員	阿部 貴美子				
開講学期	2025年度 前学期	曜日・時限	水曜2限		
授業目的	本授業では、戦争や紛争が続く現代において、国際協力を行う組織や方法、事例を学び、国際協力のめざすものと価値感を考え、それらと自分とのつながりを理解する。また、難民と移民への国や社会の対応を学び、そのあり方を検討できる力をつける。				
授業内容	本授業のキーワードは、国際協力活動、人道支援、グローバル・ヘルス、NGO、途上国の子どもと女性、若者、環境、コミュニティである。これらについて、活動する組織や活動形態、特徴、課題を、国際機関などの情報（動画含む）や統計、研究、ニュースから学び、検討する。具体的事例を多く取り入れ、アクティブラーニングの実施により、履修者の考察を深める。教員の国際協力実務と研究からカンボジアについても学ぶ。				
到達目標	異なる人間・文化・社会から成る世界において、貧困や温暖化による災害や自然環境の変化に苦しむ人々について学び、その背景にある国際事情を知る。それらの人々に対する国際協力について学び、そのめざすものと価値感、自分とのつながりを理解し、自分の考えと対応の仕方を言語化できる。				
ディプロマポリシーとの関連性	＜大DP1-（５）＞人間、社会、国際、自然等に関する広い知識と理解を有している。 本科目は主要授業科目です。				
授業形態	講義式授業の中で、履修生はリアクションペーパーの提出とグループワーク、プレゼンテーションを行い、教員はそれらに対して返答やコメントを行う（アクティブラーニング）。 本科目は、実務経験のある教員による授業科目です。 詳細は以下のURLをご参照ください。 https://www.shukutoku.ac.jp/extra/pdf/chiba2025jitsumukyoin.pdf （【千葉キャンパス】2025年度 実務経験のある教員一覧）				
事前・事後学習の所要時間	本科目では、各授業回に2時間の事前学習、2時間の事後学習を必要とする。 合計15回の授業で、事前事後学習60時間となる。				
テキスト	※この科目では指定の教科書はありません。授業内で使用する資料等については、別途授業内でご案内いたします。				
評価方法	授業各回の終了時に提出するリアクションペーパーから授業の理解度を評価する。その他にレポート計画書の提出とレポート概要のプレゼンテーション、レポート、授業内の小テスト（第8、15回授業内で実施）から総合的に評価する。				
評価基準	評価は100点満点の内、各回リアクションペーパー30点、レポート計画書と発表（各3分間）、内容10点、授業内テスト60点（中間、期末各30点）。				
試験・レポート等のフィードバック	各回の授業でリアクションペーパーの提出を求め、その次の授業でフィードバックをする。レポートのフィードバックは授業内で行う。試験については試験後の授業内でフィードバックをする。				
注意事項及び履修条件	授業では、内容を常に自分に引き付けて考える習慣をつけ、疑問点については調べたり、考えたり、教員や他の人に話してみる習慣をつける。必ず事前・事後学習を行い、それぞれの時点での自分の考えとその変化を把握すること。授業内では他の履修生の意見を尊重し、誰もが安心して発言できる雰囲気づくりに参加すること。				

S：100～90、A：89～80、B：79～70、C：69～60、D：60未満

第1回	
事前学習	国際協力自体と日本の国際協力の概要について調べる。参考の情報源URLは参考文献欄に記述。
授業内容	オリエンテーションとして授業の内容と進め方、レポートとテストの概要を説明する。開発途上国の分類と、国際協力を行う主な組織の種類を具体例とともに紹介する。
事後学習	詳しく知りたい国際協力を1つ取りあげ、知りたいことを5つ書き、分類してみる。
参考文献	事前学習の情報源の例 ワールド・ビジョン・ジャパン https://www.worldvision.jp/recruit/carrier_01.html 外務省 https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/about/oda/oda.html

第2回	
事前学習	日本ユニセフ協会HPの「ユニセフ活動報告」を読む（URLは参考文献欄）。

授業内容	国際協力を行う主な組織（国連、NGOなど）とそれらの協力の特徴を学ぶ。連携事例としてワクチンに関するGAVIとCOVAXを学ぶ。
事後学習	授業で学習した国際協力を行う組織のそれぞれのグループから1つの組織を選び、そのHPで特徴を学ぶ。
参考文献	事前学習の情報源 https://www.unicef.or.jp/about_unicef/activity/

第3回	
事前学習	途上国の人々の健康に大きく影響している疾病とそれによる問題を、参考文献欄に記載した情報源等から調べる。
授業内容	途上国の人々の健康に大きく影響している疾病（「世界三大感染症」など）、その要因、貧困との関係、また、それらに対して国際協力を行う組織と形態、課題について学ぶ。
事後学習	学習した内容の中から自分のレポートのテーマにしたい内容を3つ程度に絞り込み、検討する。
参考文献	事前学習の情報源の例 仲佐保, 2018, 「第2章 保健・健康—SDGs 3」高柳彰夫・大橋正明編著『SDGsを学ぶ 国際開発・国際協力入門』法律文化社, 48-63.

第4回	
事前学習	ある人が病気で入院し、治療を受けて病気が治るまでに必要なヒトとモノを書き出す。
授業内容	途上国では、保健行政が抱える予算不足などの課題は、教育などの他の行政分野にも共通する課題が多い。保健行政の課題の検討とそれに対する国際協力を学び、途上国の開発課題も検討する。
事後学習	自分の出身地が他地域の医療提供上の課題（知っている、または考えられる課題）を書き出す。
参考文献	

第5回	
事前学習	ユニセフのHPの「こどもたちのストーリー」から健康関連のものを読む。
授業内容	途上国の子どもの健康はグローバル・ヘルスの重要分野であり、SDGsにも大きく関わる。子どもの予防接種や栄養分野のプロジェクトについて文化的影響などを含めて学ぶ。
事後学習	日本の大学生が途上国の子どもの健康問題の改善に貢献できることを3つ書き出す。その貢献に必要なものを考える。
参考文献	事前学習の情報源 https://www.unicef.or.jp/children/

第6回	
事前学習	ユニセフのHPの「11月20日は『世界子どもの日』」の記事を読む。
授業内容	途上国の子どもの健康問題について、その背景にある貧困や社会状況を学び、それらへの国際協力のあり方を学ぶ。
事後学習	途上国の子どもと若者に起きている重要な問題を振り返り、どうすれば重要な問題への対応が進むか書いてみる。
参考文献	事前学習の情報源 https://www.unicef.or.jp/news/2023/0199.html

第7回	
事前学習	UNFPAのHP（URLは参考文献欄）の「妊産婦の健康」を読む。
授業内容	出産に関連して死亡する女性の割合が高いなどの途上国の女性の健康問題とその要因、この問題に対する国際協力をSDG3とSDG5と結びつきとともに学ぶ。
事後学習	途上国の女性の健康問題とSDG3、SDG5の結びつきを確認し、まとめる。
参考文献	事前学習の情報源 https://tokyo.unfpa.org/ja/ のメニューバー「活動分野」→「妊産婦の健康」 藤田則子, 2011「紛争が続く国での出産事情：安全な「お産」への道のり—アフガニスタン」松岡悦子・小浜正子『世界の出産 儀礼から先端医療まで』勉誠出版, 172-176.

第8回	
事前学習	JANICのHPからNGOの予備知識を得る（URLは参考文献欄）。
授業内容	市民の国際協力への様々な参加の形態と規模、分野を学ぶ（国際NGOから募金、健康分野や地球環境問題など）。レポート課題の詳細説明をする。授業内小テスト（中間）を行う（30分）。
事後学習	市民参加について自分がさらに知りたいことをまとめる。レポートのテーマを決める。
参考文献	事前学習の情報源 https://www.janic.org/janic/ 中村哲・澤地久枝（聞き手）2010『人は愛するに足り、真心は信ずるに足る アフガニスタンとの約束』岩波書店。

第9回	
事前学習	カンボジアの近代史の概要を把握する。情報源の例は参考文献欄に記述。
授業内容	カンボジアは戦争と紛争のために開発が遅れた。人々の健康課題も多かった。紛争中には多数の医師や看護師が虐殺された。同国に対する国際協力を日本による協力を中心に学ぶ。
事後学習	カンボジアに対する国際協力の特徴と課題をまとめる。

参考文献	事前学習の情報源の例 インターネットでは、ワールド・ビジョン・ジャパン「3分でわかるカンボジア～カンボジアってどんな国？～」。
第10回	
事前学習	ユニセフによる障害のある子どもについての調査結果を読む（URLは参考文献欄）。
授業内容	教育分野の国際協力の様々な形態や組織を紹介する。また、途上国の障害のある子どもたちと高齢者に対する国際協力を紹介し、社会的弱者に対する支援を考察する。
事後学習	日本の大学生が途上国の子どもの教育問題の改善に貢献できることを3つ書いてみる。
参考文献	事前学習の情報源 https://www.unicef.or.jp/news/2022/0040.html
第11回	
事前学習	レポート概要の発表の準備をする。
授業内容	履修生が各自のレポートの概要を発表する。具体的な発表形態は授業内で説明します。発表の後に教員がフィードバックします。
事後学習	他の履修生の発表と教員からのフィードバックを踏まえ、自分のレポートを改定する。
参考文献	
第12回	
事前学習	ガザ地区に対する人道支援について調べる。
授業内容	ガザ地区やウクライナで起きている人道危機を知り、それに対する人道支援を実施している組織と支援形態を学び、人道危機に対して自分の貢献できることを考える。
事後学習	日本の難民政策や国際協力活動を調べ、授業で学習した内容と比較する。
参考文献	事後学習の情報源の例 https://www.unicef.or.jp/news/2025/0012.html
第13回	
事前学習	移民女性の課題を検索ワード：移民女性、結婚移民、技能実習生AND女性で調べる。
授業内容	日本に暮らす外国人（移民）女性が医療を受ける際の課題（医療通訳と行政の対応）を検討する。その子どもたちの教育上の課題も学ぶ。
事後学習	自分の出身自治体のHPから外国人相談と医療通訳について調べる。
参考文献	小ヶ谷千穂，2013「批判的移民研究に向けてーフィリピン女性移民を通して」伊豫谷登士翁『移動という経験 日本における「移民」研究の課題』有信堂，118-134。
第14回	
事前学習	出入国管理庁2024年版「出入国在留管理」の指定箇所を読む（URLは参考文献欄）。
授業内容	異なる在留資格を持つ日本に暮らす外国人（技能実習生、留学生など）の主要な健康問題と医療へのアクセス上の問題を具体的な事例から学ぶ。
事後学習	自分の出身地または居住地の在住外国人の健康課題を考える。
参考文献	事前学習の情報源 https://www.moj.go.jp/isa/policies/policies/03_00011.html
第15回	
事前学習	全授業の内容をノートと資料から復習する。
授業内容	本授業のまとめと振り返りの後、授業内小テスト（期末）を行う（30分）。最後にテストの解説を行い、履修生の授業内容の理解の促進を図る。病欠など特別な理由による小テスト未受験者については、後日個別に教員から対応を連絡する。
事後学習	試験問題と試験後の教員からの解説から、自分の回答の妥当性について考える。
参考文献	
※この他に試験が実施される場合があります。担当教員の指示に従ってください。	
ディプロマポリシー	<大DP-1>【社会の構成員としての基本的知識・技能・能力】 <大DP1-（1）>日本語や英語のコミュニケーション能力を修得している。 <大DP1-（2）>情報リテラシーや数量的スキルを修得している。 <大DP1-（3）>課題発見・問題解決能力を持ち、主体性をもって協力し合う態度を身に付けている。 <大DP1-（4）>自己管理能力、倫理観、リーダーシップ、市民としての社会的責任、生涯学習力を修得している。 <大DP1-（5）>人間、社会、国際、自然等に関する広い知識と理解を有している。 <大DP-2>【専門教育分野における知識・技能・能力】 <大DP2-（1）>自らが学んだ学位プログラムの基礎となる原理・原則を理解し、それに基づく体系的専門知識を修得している。

＜大DP2-（２）＞修得した体系的専門知識を、実践の場において活用する技能や態度を修得している。